



秩父別町立秩父別中学校 学校だより

平成29年 7月21日発行 第13号

秩父別町2条2丁目 Tel 0164-33-2650

発行責任者：校長 中島 淳

編集：教頭 佐々 謙彰

<web版につき、写真を削除するなど一部修正しています>

一学期の終了にあたって

校長 中島 淳

7月に入り記録的な猛暑に見舞われておりますが、学校は、本日の終業式をもって1学期の学習活動を終えます。4月6日の始業式、入学式から授業日数は72日（2年生は71日）を数えました。その間、生徒達は、様々な活動の場面で、先生方の熱心な指導とご家庭の皆様の応援を受けながら力を伸ばしてきました。とりわけ、中体連大会においては3つの運動部が揃って空知大会へ駒を進め、いずれも上位入賞を果たしました。しかも、野球部とバレーボール部は空知大会優勝の栄冠を手にして北海道大会へ出場することになりました。（北海道大会へ出場できるのは、優勝チームのみです。）記録が残っている範囲では、バレーボール部は、12年ぶり2度目、野球部は、初優勝。複数の部が同時に優勝するのは、おそらく開校以来の快挙です。

北空知大会前は、優勝候補と目されていたわけではありませんし、絶好調という状態でもありませんでした。少ない人数で力を合わせ、苦しい局面を耐え抜き、少ないチャンスをもものにして一戦一戦勝ち上がるたびに自信をつけ、力を出し切った結果、優勝に届いたのだと思います。それを可能にしたのは、偶然でも何でも無い、日常の学校生活です。例えば、毎日の授業態度、旅行的行事での行動、雨の中最後まで全力を尽くし仲間を励まし応援した体育大会など。こうした日頃の生活の一つ一つの積み重ねなくして今回の快挙は、なかったと思います。またこのことは、部活動にかぎらず、いろいろな場面で必ず生きてくるはずですよ。

秩父別町は、「小さくてもキラリと輝く存在感あるまちづくり」を推進しております。本校も小さな中学校ですが、大いに貢献できたのではないかと思います。北海道大会で自信を持って戦い、秩父別旋風を巻き起こして欲しいと思います。

飲酒運転の根絶を

私は、以前歌志内小学校に教頭として勤務しておりました。転勤して7年程たったH27.6.6 砂川市での飲酒運転によるひき逃げ死亡事故がありました。犠牲になった高校生は、かつて歌志内小学校に通っていた児童でした。今も思い出すたび、言いようのない悲しみと怒りがこみ上げて来ます。「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が制定され2年近くになります。保護者・地域の皆様方におかれましても、「しない、させない、ゆるさない。」という強い気持ちを持って飲酒運転根絶を実現をさせましょう。

『ランニング教室』

7月16日（日）に教育委員会の主催でランニング教室が行われました。今年は、札幌から 作田 徹 先生に来ていただき、ランニングの実演・レッスンや実際のコースを走ったりしました。中学校からは野球部が参加しました。10月の新米普及マラソンにむけて走り方の基本を学べたと思います。

『3年家庭科ふれあい実習』

7月18日（火）にくるみ園で、3年生が幼児とのふれあい実習に行ってきました。最初は緊張気味でしたが、次第にほぐれてきて、ふれあってくることができました。子どもたちの可愛さに心癒されたひとときでした。

『夏休みの予定』

7月

- 22日（土） 学芸連吹奏楽発表会
- 25日（火） 綾川町交流事業（～28）
- 28日（金） バレー全道中体連（～30）
- 29日（土） 野球全道中体連（～8/1）
- 31日（月） 夏休み勉強会（～8/2）

8月

- 3日（木） バレージュニアキャンプ（～4）
- 5日（土） 吹奏楽コンクール空知大会
とんでん祭（～6）
- 7日（月） 2年学年レク
- 14日（月） 夏休み勉強会（～16）